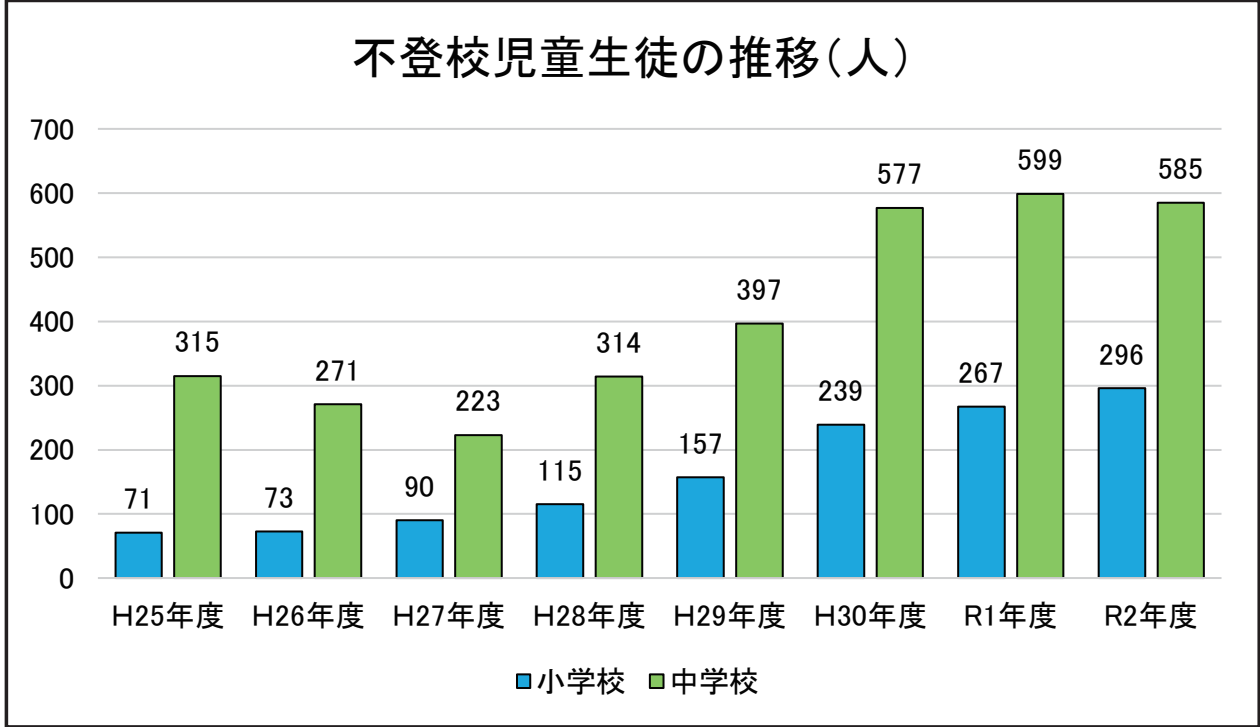


■表1：不登校児童生徒の推移（兵庫県及び全国との比較）

	小学校（人）（ ）内は全体に占める割合			中学校（人）（ ）内は全体に占める割合		
	西宮市	兵庫県	全国	西宮市	兵庫県	全国
H25年度	71 (0.25%)	820 (0.27%)	24,175 (0.36%)	315 (2.63%)	4,070 (2.75%)	95,442 (2.69%)
H26年度	73 (0.26%)	815 (0.28%)	25,864 (0.39%)	271 (2.24%)	3,929 (2.69%)	97,033 (2.76%)
H27年度	90 (0.32%)	936 (0.32%)	27,583 (0.42%)	223 (1.83%)	4,065 (2.83%)	98,408 (2.83%)
H28年度	115 (0.41%)	1,111 (0.38%)	30,448 (0.47%)	314 (2.63%)	4,420 (3.15%)	103,235 (3.01%)
H29年度	157 (0.57%)	1,490 (0.52%)	35,032 (0.54%)	397 (3.35%)	4,979 (3.63%)	108,999 (3.25%)
H30年度	239 (0.87%)	1,873 (0.65%)	44,841 (0.7%)	577 (5.07%)	5,736 (4.3%)	119,687 (3.65%)
R1年度	267 (0.99%)	2,337 (0.82%)	53,350 (0.83%)	599 (5.43%)	6,084 (4.62%)	127,922 (3.94%)
R2年度	296 (1.12%)	2,829 (1.01%)	63,350 (1.0%)	585 (5.37%)	6,424 (4.91%)	132,777 (4.09%)

■表2：西宮市の不登校児童生徒数の推移



■幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

- ①健康な心と体 ⇒資料5 参照
- ②自立心
- ③協同性
- ④道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤社会生活との関わり
- ⑥思考力の芽生え
- ⑦自然との関わり・生命尊重
- ⑧数量・図形、文字等への関心・感覚
- ⑨言葉による伝え合い
- ⑩豊かな感性と表現

小・中学校における不登校の状況について

不登校の要因

【国公立】小・中学校

	不登校児童生徒数	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし
		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動、部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応	家庭の生活環境の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、あそび、非行	無気力、不安	
小学校	63,350	171	4,259	1,187	2,049	153	11	453	1,121	2,408	9,227	1,027	8,863	29,331	3,090
		0.3%	6.7%	1.9%	3.2%	0.2%	0.0%	0.7%	1.8%	3.8%	14.6%	1.6%	14.0%	46.3%	4.9%
中学校	132,777	228	16,571	1,226	8,626	1,428	772	1,061	5,412	3,259	8,168	2,456	14,576	62,555	6,439
		0.2%	12.5%	0.9%	6.5%	1.1%	0.6%	0.8%	4.1%	2.5%	6.2%	1.8%	11.0%	47.1%	4.8%
合計	196,127	399	20,830	2,413	10,675	1,581	783	1,514	6,533	5,667	17,395	3,483	23,439	91,886	9,529
		0.2%	10.6%	1.2%	5.4%	0.8%	0.4%	0.8%	3.3%	2.9%	8.9%	1.8%	12.0%	46.9%	4.9%

※1 「長期欠席者の状況」で「不登校」と回答した児童生徒全員につき、主たる要因一つを選択。

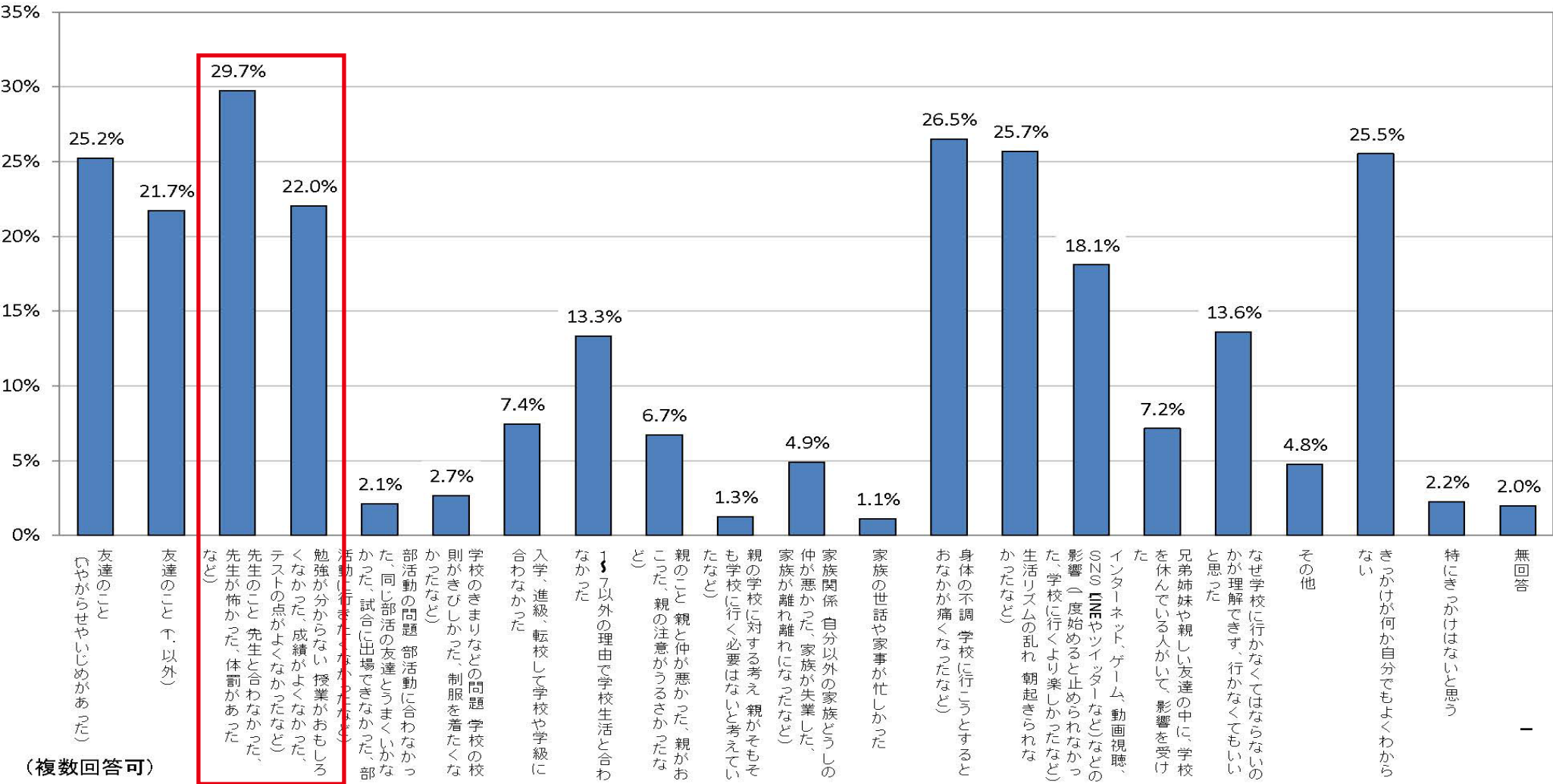
※2 下段は、不登校児童生徒数に対する割合。

調査対象：調査時点において、調査への協力が可能と回答のあった対象**学校に通う小学校6年生又は中学校2年生で、前年度(令和元年度)に不登校であった者**のうち、調査対象期間(R2.12.1～R2.12.28)に、学校に登校又は教育支援センターに通所の実績がある者

最初に行きづらいと感じ始めたきっかけ①

○「先生のこと(30%)」、「身体の不調(27%)」、「生活リズムの乱れ(26%)」の順で高い割合である。
○2割強は、「きっかけが何か自分でもよくわからない」と回答している。

【小学校】



調査対象:調査時点において、調査への協力が可能と回答のあった対象**学校に通う小学校6年生又は中学校2年生で、前年度(令和元年度)に不登校であった者**のうち、調査対象期間(R2.12.1～R2.12.28)に、学校に登校又は教育支援センターに通所の実績がある者

最初に行きづらいと感じ始めたきっかけ②

○「身体の不調(33%)」、「勉強が分からない(28%)」、「先生のこと(28%)」の順で高い割合である。
○2割強は、「きっかけが何か自分でもよくわからない」と回答している。

【中学校】

